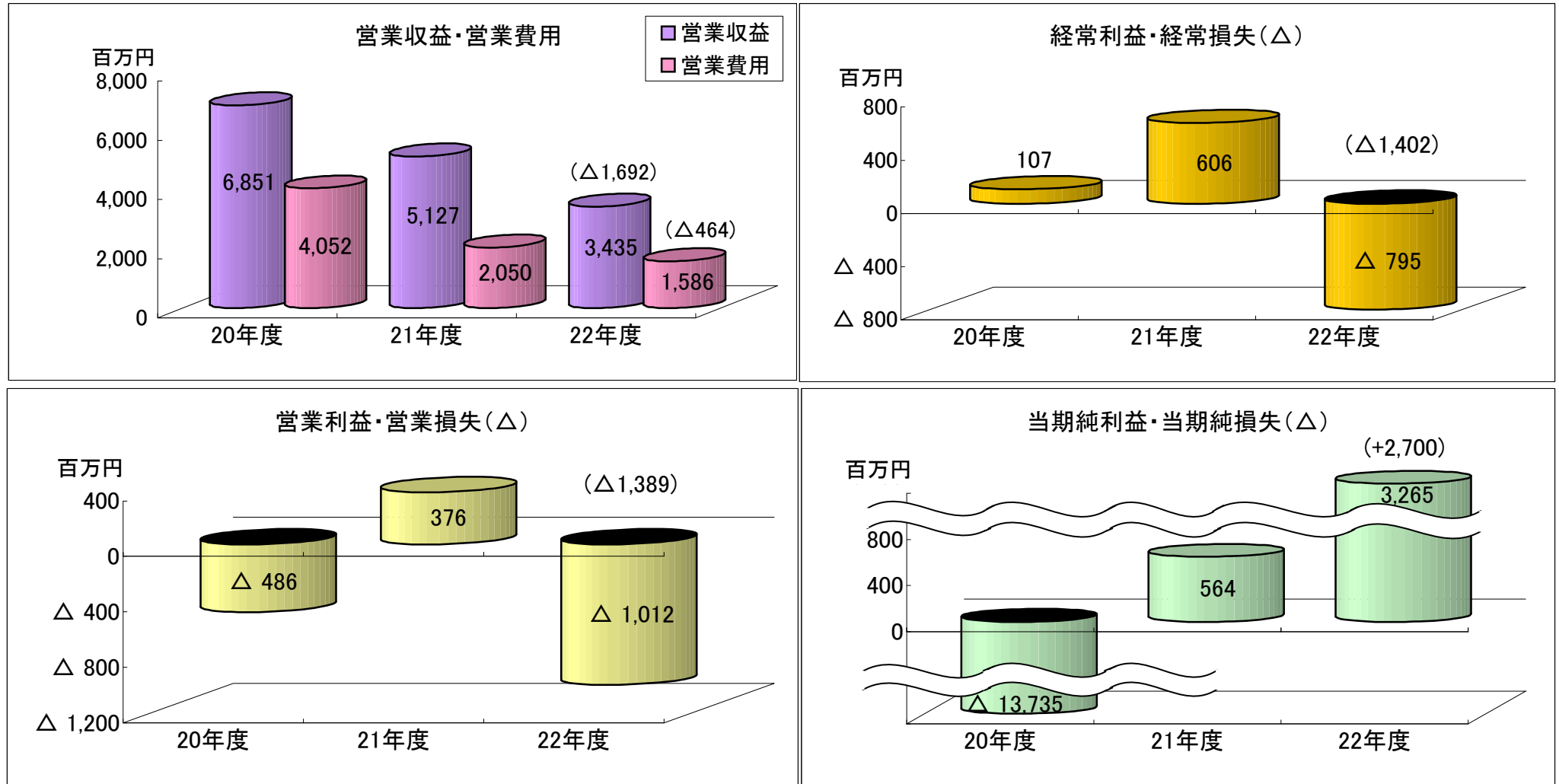


# 平成22年度決算の概要

## (1) 収支状況

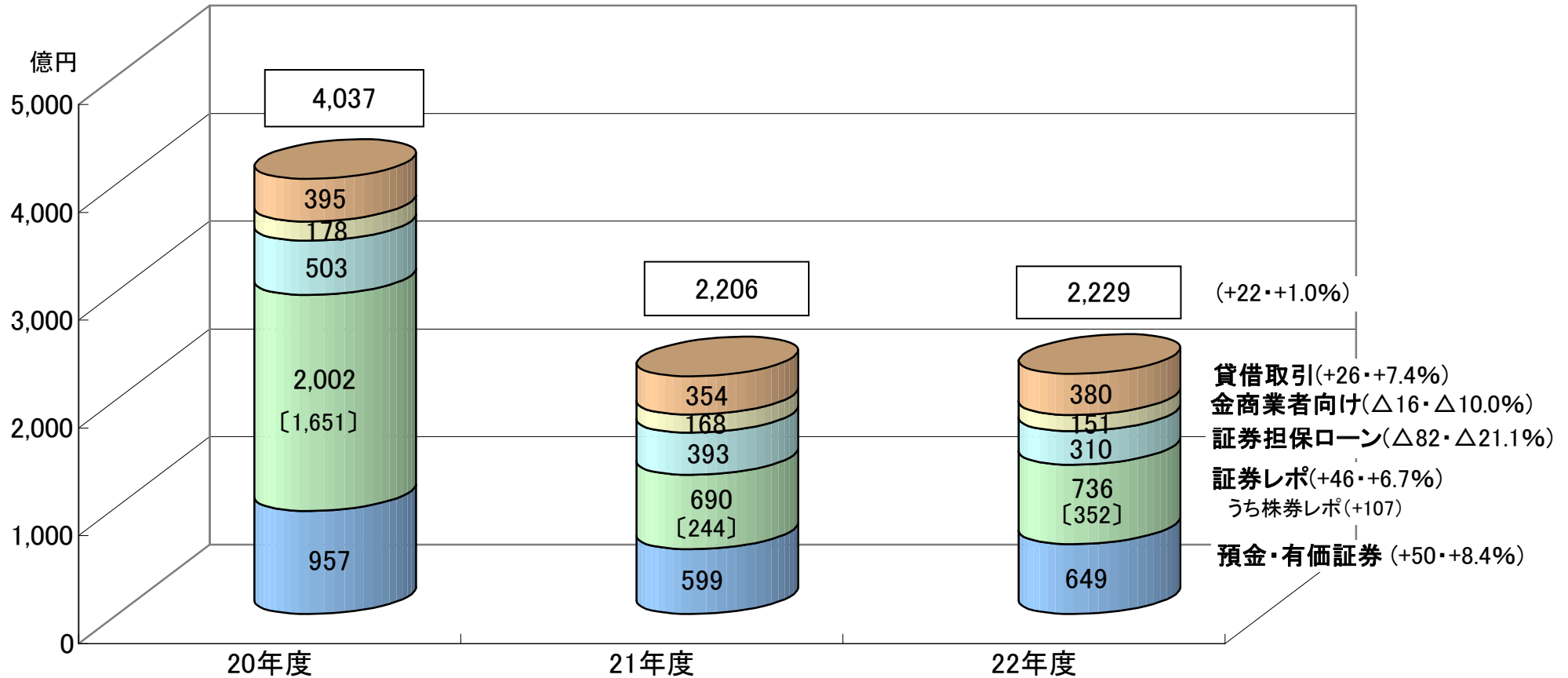
☆株式市況が年度を通して低迷する中、証券担保ローンの減少等による営業収益の減収に加え、既往貸付先について返済力の低下リスク等に備え前広に貸倒引当金繰入を実施したことなどから、営業・経常損益は赤字となった。一方、当期純損益は、リーマン・ブラザーズ証券に対する再生債権にかかる第1回弁済額(2,713百万円)および同債権の譲渡益(1,999百万円)を特別利益に計上したことから、大幅な黒字。



(注) ( )内は前年同期比較。

## (2) 資金運用残高

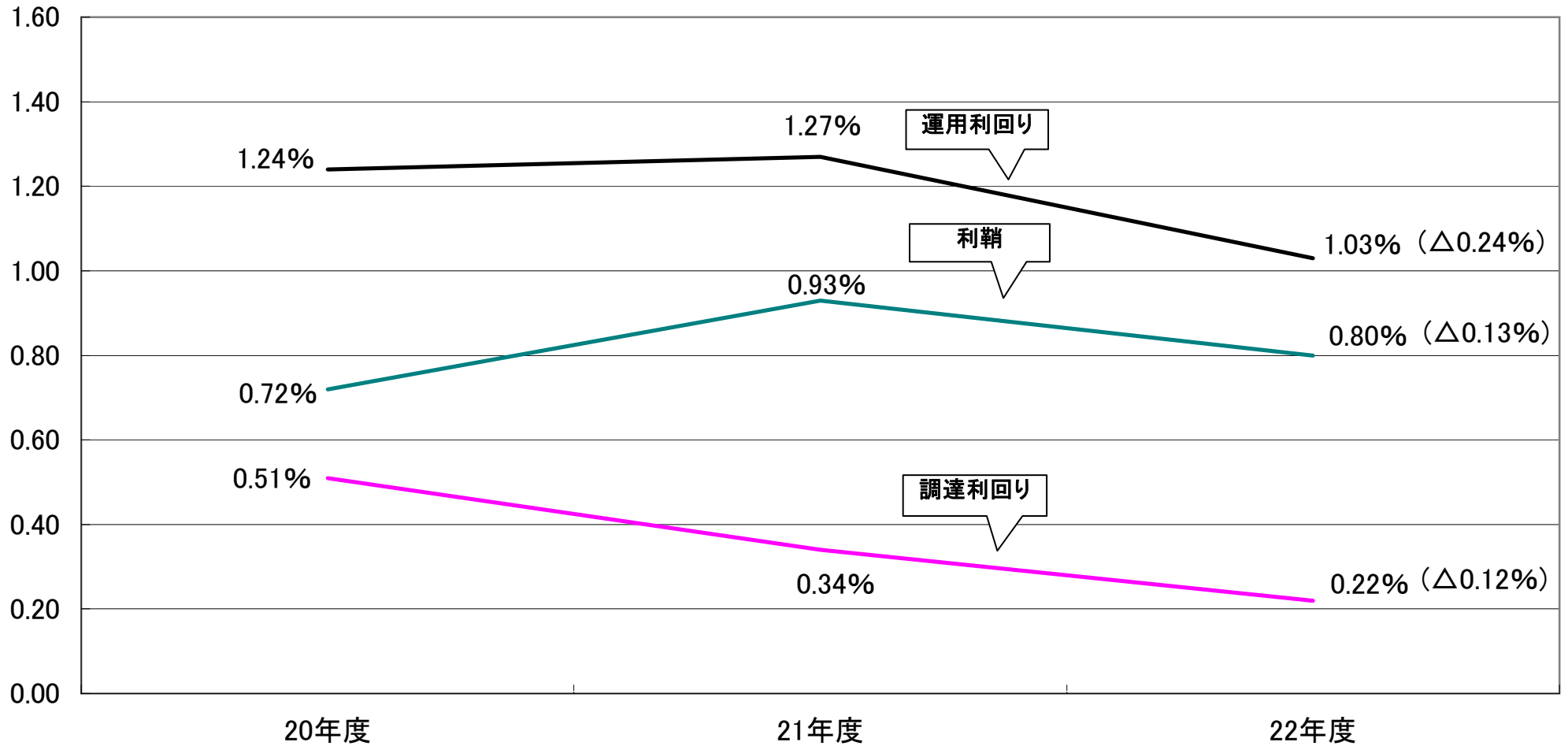
☆新JASDAQ市場の貸借取引業務を開始したことにより、貸借取引が拡大したほか、証券レポ等も増加したものの、リスク管理重視のスタンスを映し証券担保ローンが減少したことから、運用残高はほぼ横這い。



- (注) 1 ( )内は前年同期比較。  
 2 平均残高。証券レポの[ ]は、株券レポ取引の平均残高を内書きで表示しております。  
 3 貸借取引残高には、「貸借取引借入有価証券代り金」残高を含んでおります。

### (3) 運用・調達利回り、利鞘

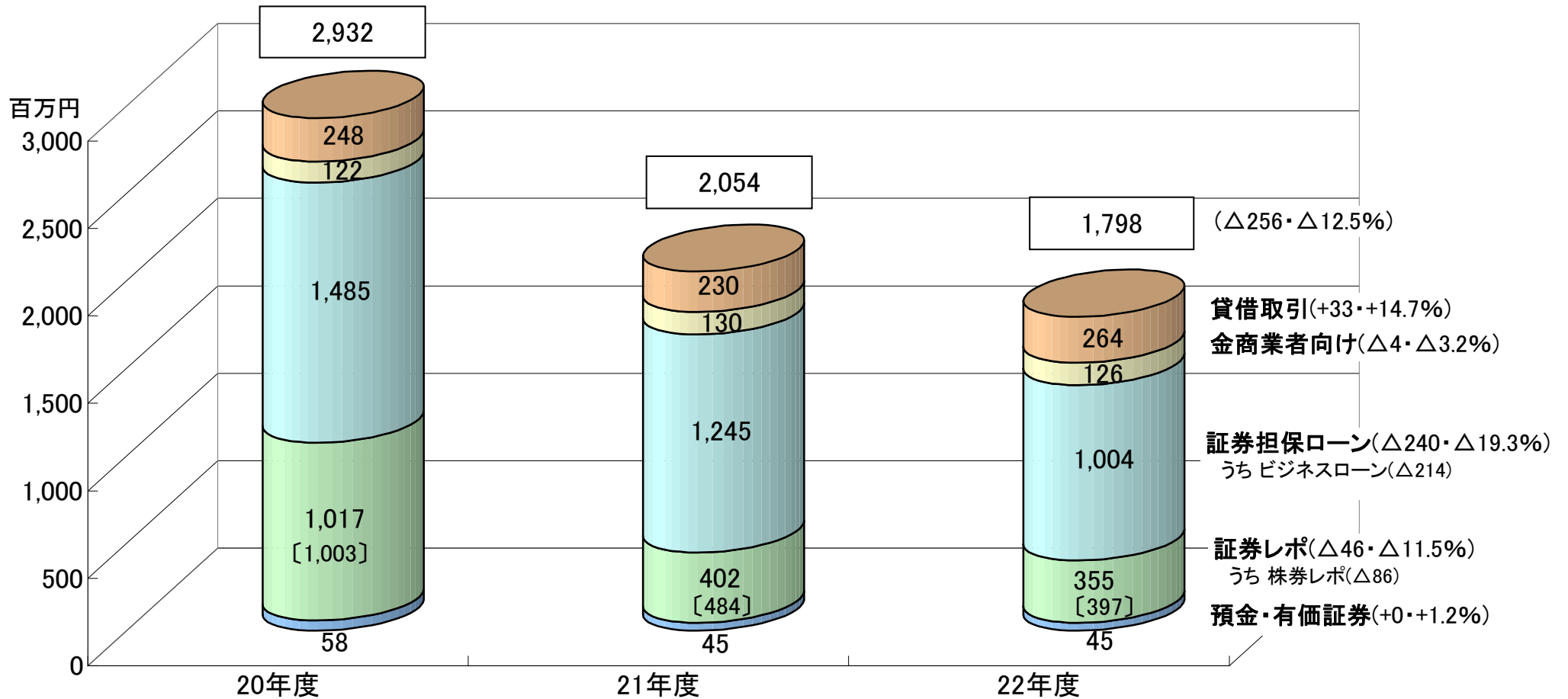
☆市場金利の低下を反映し、運用・調達利回りとも低下する中において、リスク管理強化の観点から、運用資産内容の見直しを相対的に高利回りの資産中心に行ったことから、運用利回りは調達利回りを上回る低下。



(注) ( )内は前年同期比較。

## (4) 利鞘収入

☆貸借取引にかかる利鞘収入は増加したものの、証券担保ローンの運用残高減少を主因に減収。



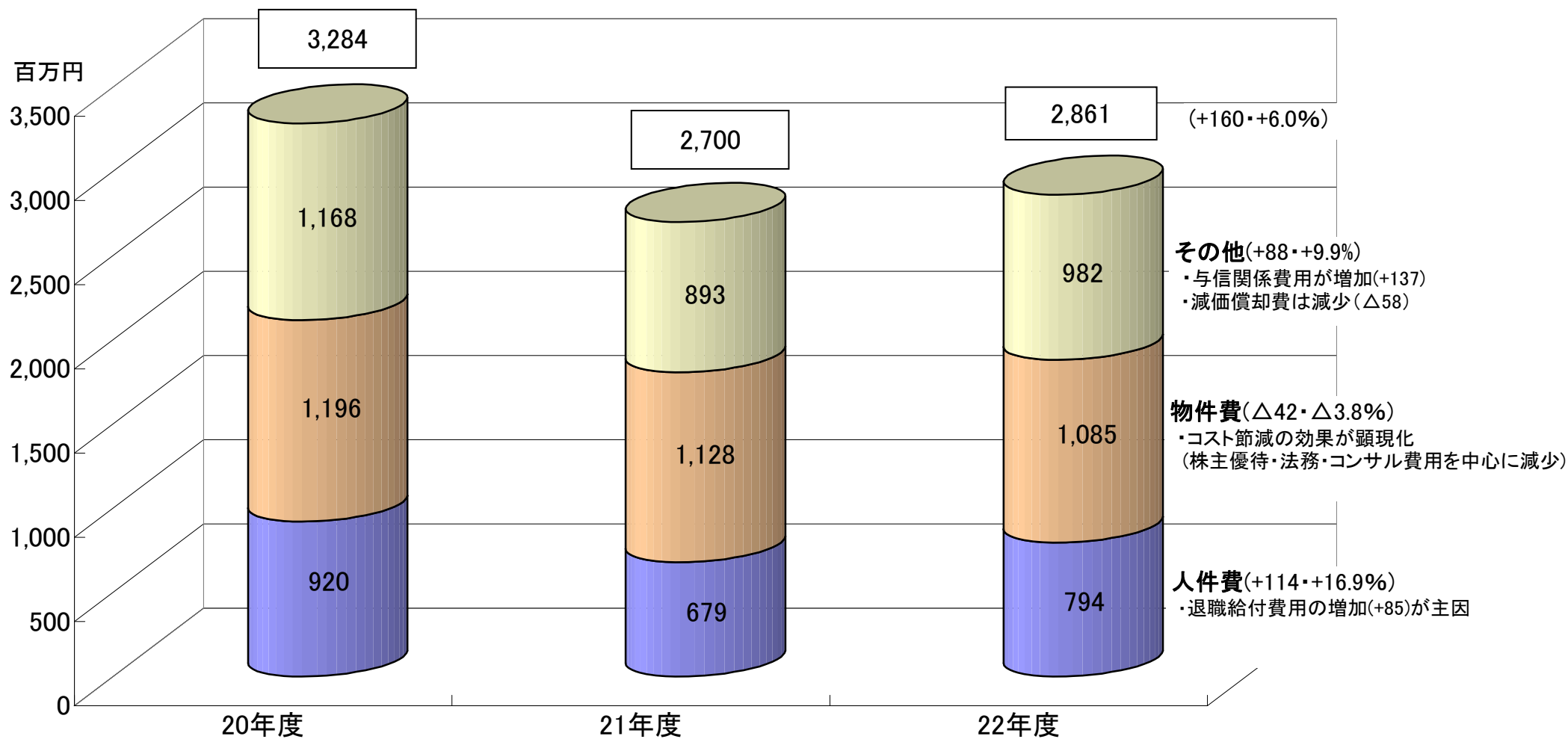
(注) 1 ( )内は前年同期比較。

2 証券レポの〔 〕は、株券レポ取引の利鞘収入を内書で表示しております。

3 貸借取引の利鞘収入は、「貸借取引借入有価証券代り金」の利鞘収入を含んでおります。

## (5) 一般管理費

☆物件費や減価償却費の削減効果が顕現化しているものの、既往貸付先について返済力の低下リスク等に備え前広に貸倒引当金繰入額を計上したことなどから増加。



(注) ( )内は前年同期比較。

## (6) 経営指標の状況

### ① 格付け

資産の健全性、リスク管理態勢が評価され、格付け維持。

格付機関	公表日	長期	短期(国内CP格付)
R&I (株)格付投資情報センター	平成22年9月22日	A- (安定的)	a-1
JCR (株)日本格付研究所	平成23年4月12日	A- (安定的)	J-1

### ② 自己資本規制比率／自己資本比率

自己資本規制比率は一般的に健全性の目安とされる200%を大きく上回る水準を維持。

	平成23年3月末	参考
自己資本規制比率 (金融商品取引法基準)	433.9%	金融商品取引業者平均 603.8%(平成22年12月末現在)
自己資本比率 (BIS基準)	27.3%	・国際統一基準行平均 15.1%(平成22年9月末現在) ・国内基準行平均 11.1%(平成22年9月末現在)

## (7)平成23年度 業績予想

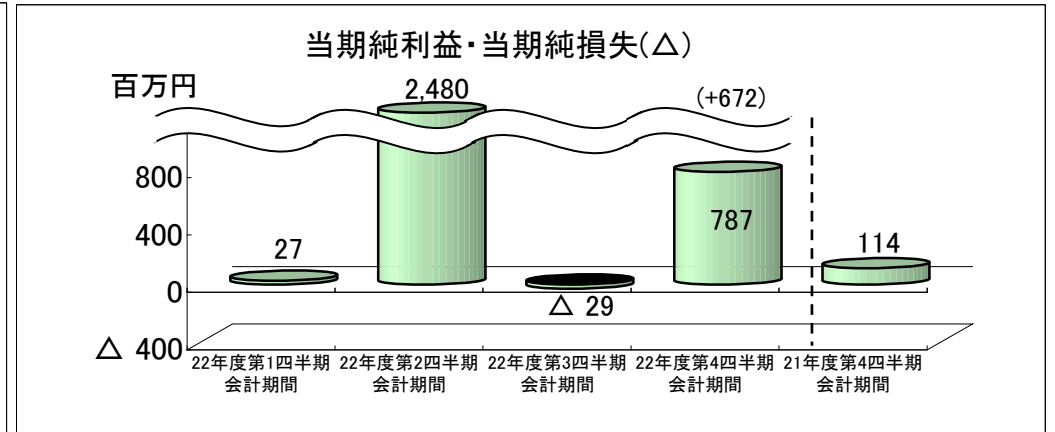
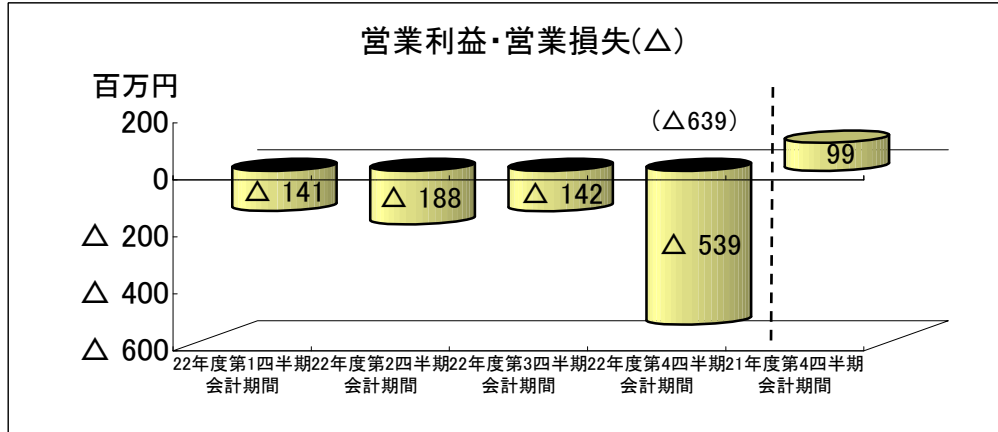
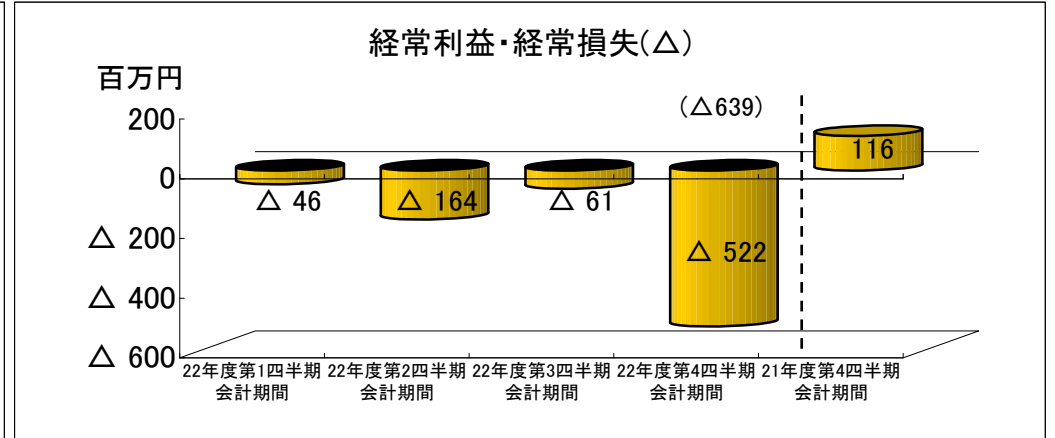
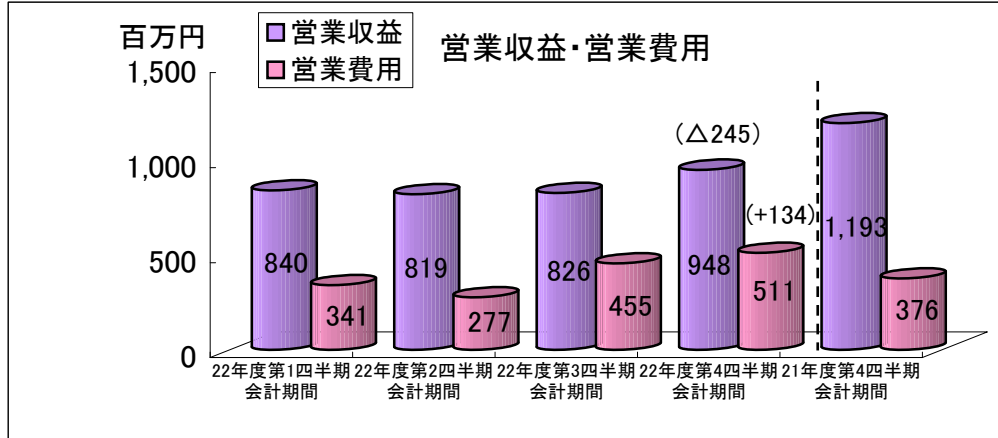
(単位:百万円、%)

	平成22年度 通期実績	平成23年度予想		対前年度比(通期)	
		第2四半期累計期間	通期	増減額	増減率
営業収益	3,435	1,800	4,000	564	16.4
営業利益	△ 1,012	△ 50	200	1,212	—
経常利益	△ 795	50	450	1,245	—
当期純利益	3,265	50	450	△ 2,815	△ 86.2

# <参考> 平成22年度第4四半期(会計)の概要

## (1) 収支状況

☆第4四半期は、既往貸付先について返済力の低下リスク等に備える観点から、前広に貸倒引当金繰入を実施したことにより営業・経常損益の赤字幅は拡大。一方、当期純損益はリーマン・ブラザーズ証券に対する確定再生債権の譲渡益(1,999百万円)を特別利益に計上したことから黒字を確保。

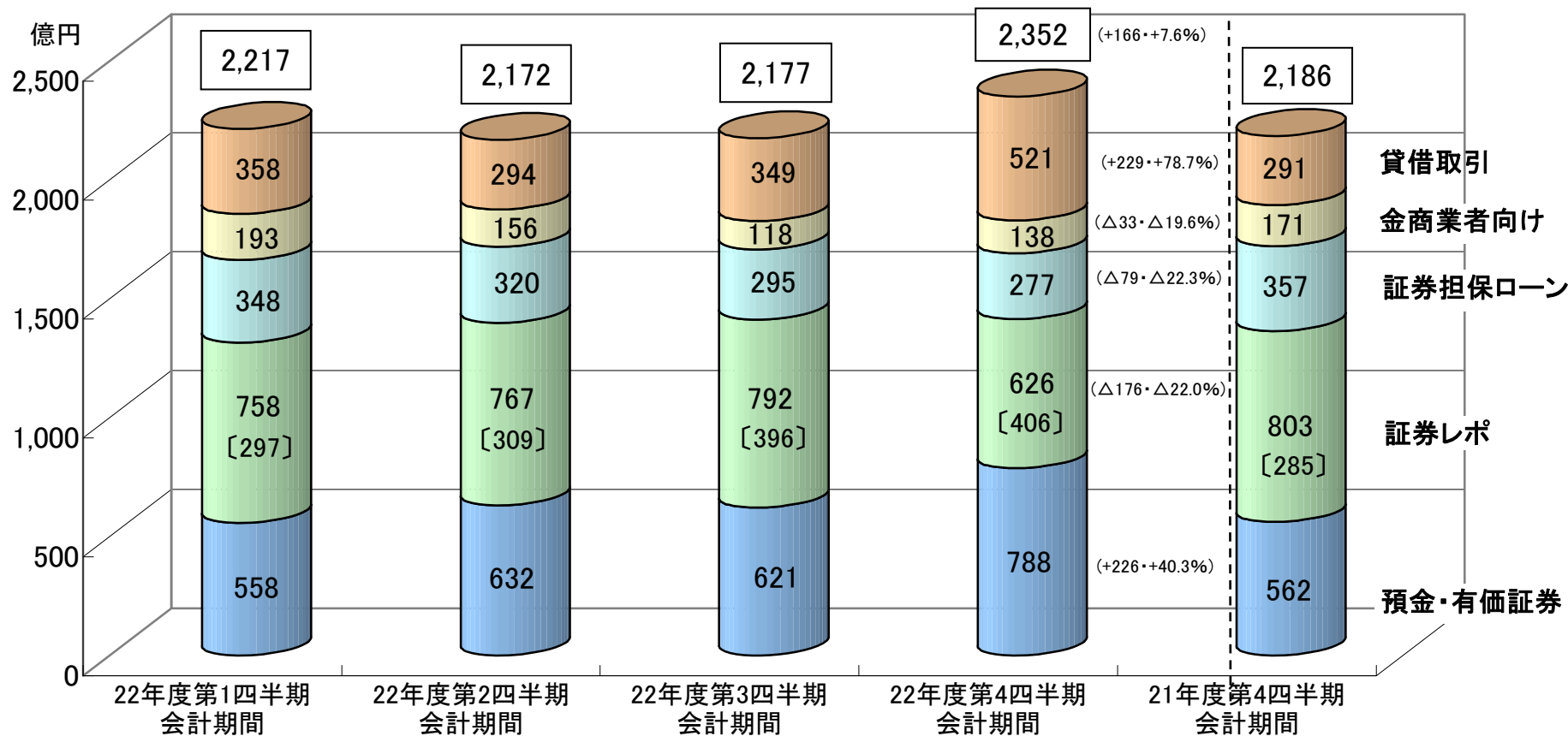


(注) ( )内は前年同期比較。



## (2) 資金運用残高

☆証券担保ローンや証券レポの残高減少が続く中、  
貸借取引の大幅な増加が寄与し、運用残高は増加。



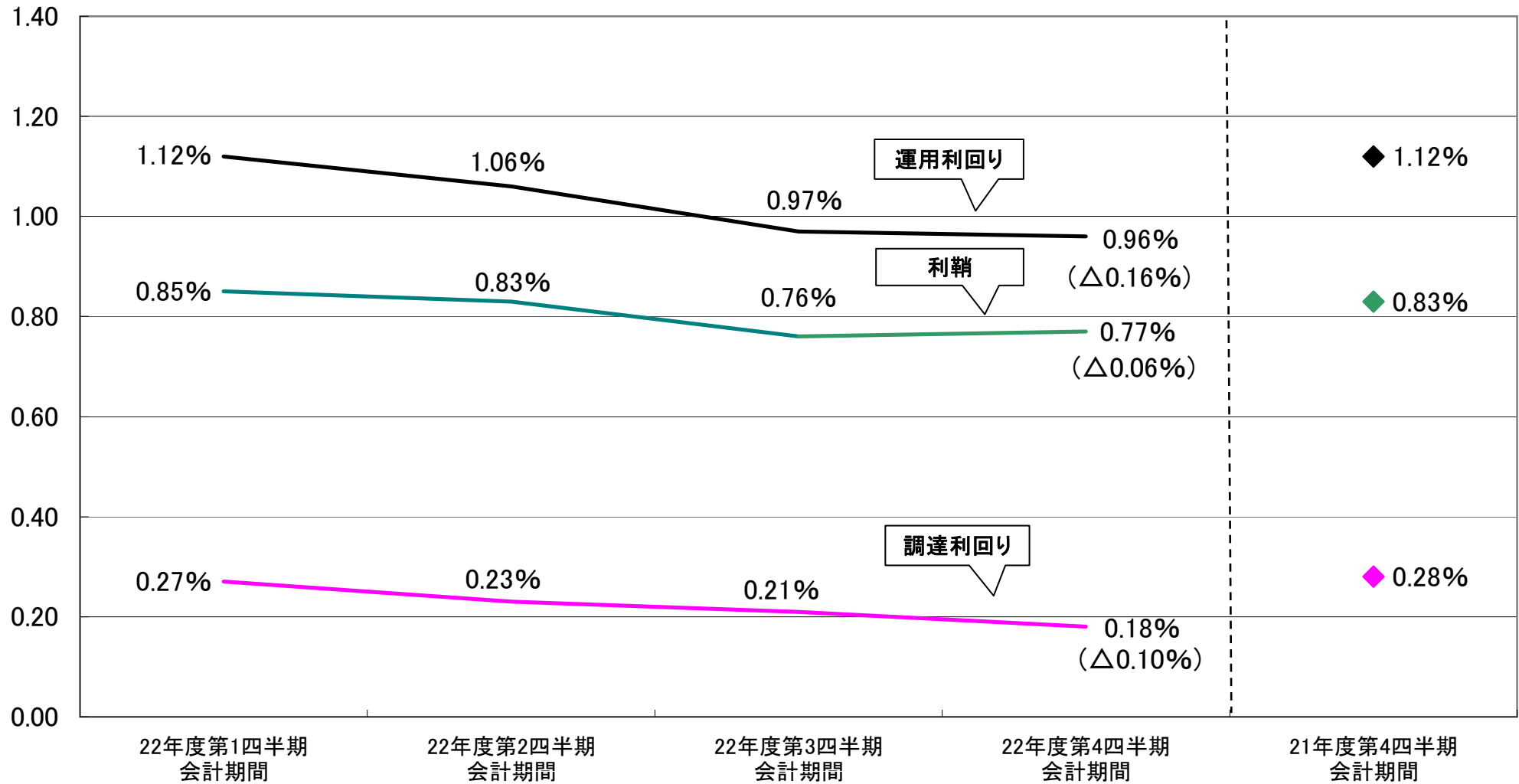
(注) 1 ( )内は前年同期比較。

2 平均残高。証券レポの〔 〕は、株券レポ取引の残高を内書きで表示しております。

3 貸借取引残高には、「貸借取引借入有価証券代り金」残高を含んでおります。

### (3) 運用・調達利回り、利鞘

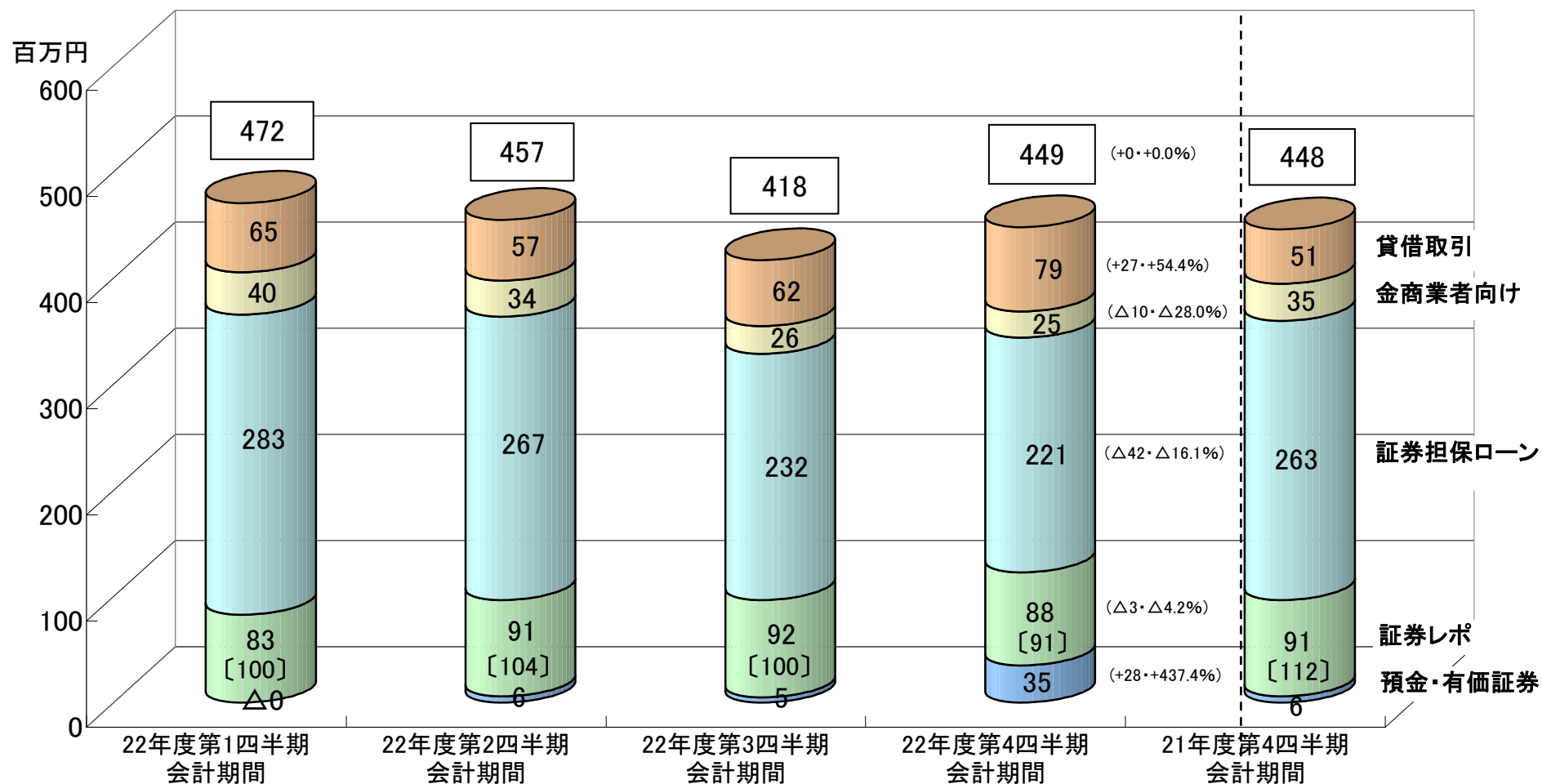
☆市場金利動向を反映し、運用・調達利回りとも低下傾向を辿る中、利鞘は下げ止まり。



(注) ( )内は前年同期比較。

## (4) 利鞘収入

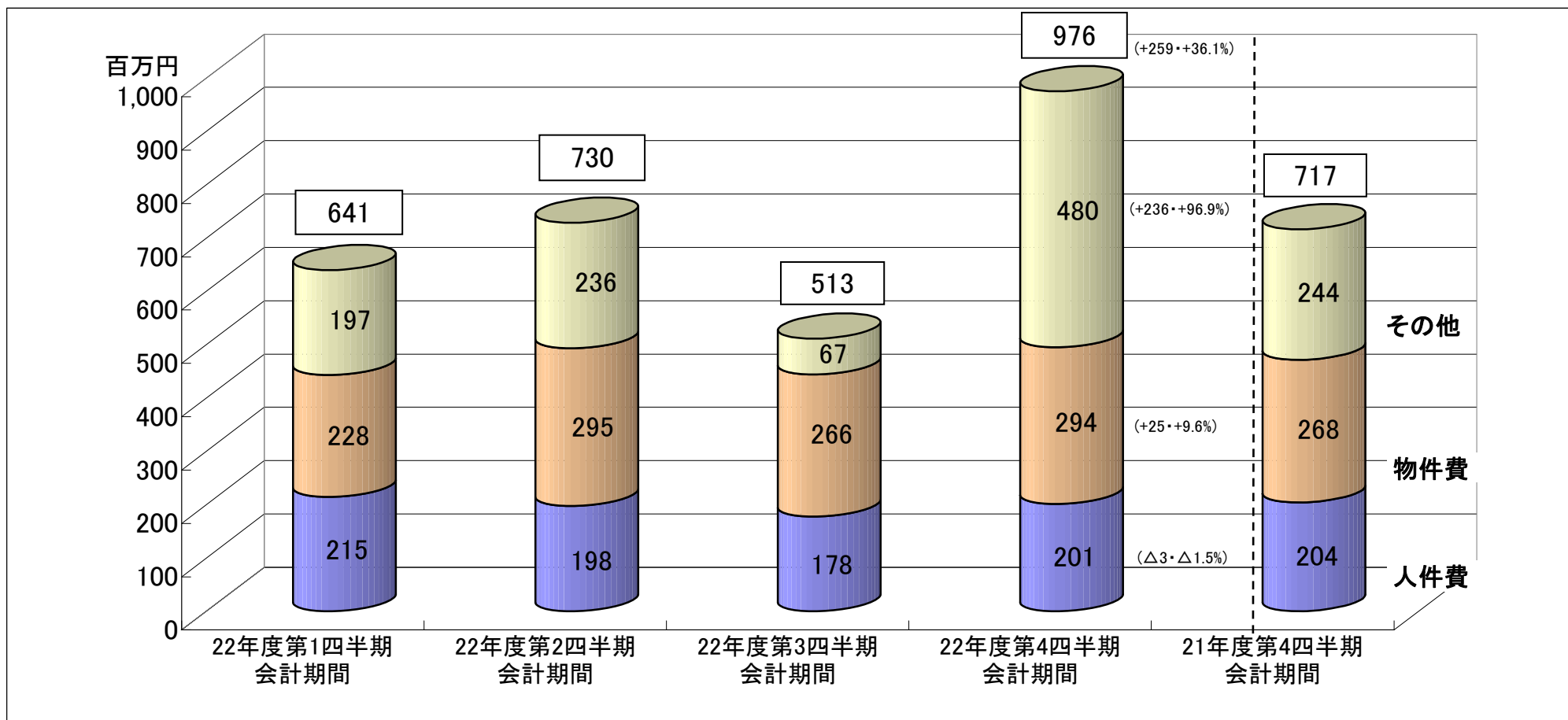
☆証券担保ローンの運用残高減少による減収を、貸借取引の増収がカバーする形で、利鞘収入はほぼ横這い。



- (注) 1 ( )内は前年同期比較。  
 2 証券レポの[ ]は、株券レポ取引の利鞘収入を内書で表示しております。  
 3 貸借取引の利鞘収入は、「貸借取引借入有価証券代り金」の利鞘収入を含んでおります。

## (5) 一般管理費

☆既往貸付先について返済力の低下リスク等に備える観点から前広に貸倒引当金繰入額を計上したことを主因に増加。



(注) ( )内は前年同期比較。